

— 薄曇りでの長寿を祝う花見会でした —

65才以上の住民を対象とする「長寿を祝う花見会」が、佐鳴台地区自治会連合会および佐鳴台地区社会福祉協議会の主催で4月5日(日)佐鳴湖東岸広場で開催されました。

当日の昼前に打ち上げられて日本中を震撼させた北朝鮮のテポドン2号の所為でもないでしょうが、薄曇りで肌寒い日となりました。しかし、お陰で早咲きの桜が散ることもなく、花見会を待っていてくれました。

会は10時から始まり、先月末で自治会役員を退任された二橋連合会長(前)と後任の中条(チュウジョウ)連合会長(新)の挨拶、交番長や小中学校長などの挨拶の後、地区の演芸グループによる琴演奏や舞踊を楽しみ、最後は抽選会で、佐鳴台商店街繁栄会や地区社協会などから提供された景品をゲット。

12時少し前には終了し、皆さん余裕をもって家路につかれました。

以下、花見会の様子を画像でご覧下さい。



桜の下で、受付を
する自治会役員



退任の挨拶をされる二橋前自治会連合会長(左)と新任の抱負を述べる中条新連合会長(右)。尚、二橋前会長には、今後も「佐鳴の輪」顧問としてご支援を頂きます。



春を寿ぐ琴の調べ、桜花に調和した衣装で舞踊に酔っています。



湖をバックにした艶姿



「みんな一緒に踊りましょう」の掛け声で踊りだす見学の皆さん



最後の抽選会で、自分の番号札が当たるのを息を飲んで見つめます。



後片付けを急ぐ
自治会役員諸氏。



(H21.04 編集子)